

第17回 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（要旨）

日時：令和2年3月26日（木）9:00～

場所：401 会議室

【協議事項】

1. 感染防止に向けた市の方向性について

・ 公共施設、主催イベントについて

副市長：施設再開協議の場として設けたが、犬山市で感染者が発生した。状況が大きく変わったため、再開は見送りとし4月末まで延長・中止として今回の会議で決定したい。

市長：了承。イベント・施設は4月末まで自粛・閉鎖継続でいく。

副市長：予約の関連の事務はしっかり対応すること。

市民の感染者は恐らく、可児市の合唱サークルでの感染。庁内の感染にも備え、消毒液、検温器等の必要品の準備をしておくこと。各種委託契約についてもよく精査して進めていくこと。

市長：学校の屋外部活は4月から行うとしているが、接触や密集には、重々気を付けて対応すること。それができないなら、部活再開を見送ること。

市民感染者の情報を正確につかむ必要がある。行動履歴・受診医療機関・濃厚接触者の特定・濃厚接触者への対応・濃厚接触者の範囲の特定など、県に任せっぱなしではなく、早急な対応が必要。クラスター班の派遣要請を申し入れした方がよい。健康推進課はすぐ動くこと。詳細については、健康推進課に直接指示する。

また、今の情報については、情報開示ができるかを確認すること。

近隣で、2つのクラスターが発生していると見た方がよい。

名鉄とのキャンペーンについては、継続か中止か、また運用方針について、早急に名鉄と協議すること。取りやめたときの課題を法的な面も含めて洗い出すこと。

副市長：施設の張り紙等の細かいところも対応すること。職員の感染が発生する可能性も高くなってくる。意識すること。

経済環境部長：美化センターについても、4月いっぱいまで休止か。

市長：市民生活への影響があるので、再開はやむを得ない。ファミリーサポートセンターについても同様。

副市長：今後、爆発的なクラスターの発生は、地震や風水害と同じ災害の一種として考えてほしい。

市長：学校の再開にあたっての備えについて、明確になっているか。見える化できているか。再度精査すること。

経営部長：可児のスポーツクラブについては、会員全員に電話で伝えている模様。

市長：犬山市で濃厚接触者はいるのか。会員全員に周知されているか再確認を。

【その他、共有事項】

・濃厚接触者等への支援等

副市長：東海市では、濃厚接触者を対象に、買い物等の支援を行っている。犬山市でも、今後、濃厚接触者の発生を考え、サポート（買い物支援）していける体制を整えていきたい。これは、インフルエンザ行動対策計画にも入っているので実施していく必要あり。ただし、市としては濃厚接触者が誰かわからない。広く周知し、対象者から声をかけてもらうようにもっていく。実施課題はあるか。

健康福祉部長：基本的には、親族が対応できるので、数的には少ないのではないか。実施に向けて課題の洗い出しを行う。